

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） 平成29年7月15日（土） かごしま県民交流センター

残暑お見舞い申し上げます。この夏は、東日本の太平洋側を中心に雨や曇りの日が続き、東京では40年ぶりとなる降雨が続いたというニュースが流れていますが、鹿児島は連日の猛暑日。外を歩くだけで大粒の汗が噴き出します。

さて、標記のとおり、本年度5回目の九州体育・保健体育ネットワーク研究会「鹿児島黒豚ラウンド」が開催されました。報告が大変遅くなり、申し訳ありません。

研究会当日、遠くは岩手県など県外から6人、県内から17人、計33人の方々に参加していただき、真夏の「暑さ」に負けず劣らずの「熱い」研究会となりました。

1 トピックス：「体育・保健体育科における『主体的・対話的で深い学び』を考えよう！」

桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授から、改訂された学習指導要領の趣旨や内容等も含めながら、体育・保健体育科における「主体的・対話的で深い学び」についてお話をいただきました。

小学校学習指導要領解説体育編が6月に、中学校学習指導要領解説体育編が7月に出版されたばかりということもあり、参加者の関心も高く、メモを取りながら熱心に耳を傾ける姿が見られました。



2 ワークショップ：「新学習指導要領につなげる単元構造図の検討」

小学校4グループ、中学校1グループ、高等学校2グループに分かれて、それぞれのグループで領域・学年を決め、新学習指導要領の趣旨や内容等を考慮しながら単元構想図を作成しました。

資質・能力の育成に向けた指導内容や評価の観点について確認したり、「どのように教えるか」、「何を教えるか」、「いつ、どのように評価するか」という視点に沿って意見を交換したりしながら、単元構造図を完成させました。



3 ワークショップ：「発表とまとめ」

それぞれのグループで作成した単元構造図については、ワークショップ形式で発表を行いました。まず、作成したグループの発表者が説明し、その後、聞き手が質問をするという進め方ですが、作成したグループの全員が発表できるように工夫されているので、全員が課題意識をもって取り組むことができました。また、発表者と聞き手が互いに対話しながら進めたので、より深く理解することができました。



4 おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドには、佐藤教授をはじめ大学関係の先生方、小・中・高等学校の先生方、教育委員会関係の先生方、大学院生、学部生に参加していただき、盛会のうちに無事終了することができました。参加された方々が、それぞれの立場で体育・保健体育科について語り合い、多くのことを学ぶことができたのではないかと思います。

また、研究会終了後に行われました情報交換会におきましても、19人の方々に参加していただきました。鹿児島黒豚ラウンドにふさわしい「黒豚食べ放題」コースで大いに盛り上がりましたので、今回参加いただけなかった方も次回は、是非、黒豚を御堪能ください。

最後になりましたが、今回も、大変お忙しい中、運営・準備等に御尽力いただきました鹿屋体育大学の梶先生をはじめ、参加して下さったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

文責：鹿児島県事務局：楠生

